

# The Profile of Fukuyama Consultants

CORPORATE INTRODUCTION



株式会社 福山コンサルタント



# The Profile of Fuk

## ごあいさつ



代表取締役 社長執行役員  
福島 宏治

日頃より特段のご支援、ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、昭和24年3月に福岡県筑豊の地で創業して以来、常に時代とともに変化を続ける建設分野の社会的要請に新しいアイデアで応え続けて74年目を迎えています。中でも特に「道路・交通・鉄道の福山コンサルタント」として顧客の皆さまにご愛顧頂いています。

昭和から平成そして令和へ繋がった当社の歩みは、地域、発注機関、役職員等の多くのステイクホルダーの皆様からのご支援の賜物でございます。改めまして深く感謝申し上げます。引き続き、株式会社FCホールディングス(Founder's Consultants Holdings Inc.)の設立母体事業会社として、より一層の技術力並びに組織力強化を図ってまいります。

近年の多発する自然災害を目の当たりにすると、我が国は改めて脆弱な国土と厳しい自然条件下にあることを思い知らされます。当社が展開する建設コンサルタント事業は、国民生活の安全・安心を支え、持続可能な国土形成とその発展を促進していくために必要不可欠な社会的影響度の高い産業領域です。加えて、喫緊の課題となっている社会インフラの老朽化問題、急激に進む人口減少と高齢化社会に対応した地域づくり等、新たな社会基盤構築のためには、絶え間ない技術革新と他の科学分野との連携が必要です。

創業以来の精神である「基本は技術」は我々のストロングカルチャーです。DXやSDGsへの取り組みはもとより、新しい働き方、高い技術成果の供給により、役職員が仕事を楽しく中で人間的成長と、その総合力としての組織的進化により、社会への貢献度を高め、永続企業への道を歩んでまいります。

皆様には、引き続きまして倍旧のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## ご案内

本冊子でご紹介している事業分野に関することはもちろん、以下のようなお問い合わせにも、迅速にアドバイスをさせていただきます。どうぞご遠慮なくお申しつけください。

- 限られた予算を、もっとも効率的に執行したいが良い知恵はないか
- 住民の方からのいろんな要望について、その実行可能性を簡便に評価できないか
- 中長期でみた時に、どの計画、事業を優先させるべきか
- ある施策を暫定的に実施したいが、技術的、法令的に問題はないか など

## 会社概要

社 名 株式会社 福山コンサルタント

創 業 年 月 日 1949年3月1日

資 本 金 4億円

売 上 高 85億46百万円(2022年6月期連結)

従 業 員 数 233名(その他臨時職員118名) 2022年7月1日現在

### 事業登録

- 建設コンサルタント登録 建01第109号

登録部門

道路部門/鋼構造及びコンクリート部門/土質及び基礎部門/鉄道部門/造園部門/都市及び地方計画部門/建設環境部門/施工計画、施工設備及び積算部門/トンネル部門/河川、砂防及び海岸・海洋部門/港湾及び空港部門

- 測量業者 第(15)-851号
- 地質調査業者 質02第1557号
- 一級建築士事務所(福岡県) 第1-12376号
- 計量証明事業者(音圧レベル) 第820号(東京都)
- 計量証明事業者(振動加速度レベル) 第1313号(東京都)
- 労働者派遣事業者 派40-301118号
- プライバシーマーク付与認定 第17003301(03)号

### ISO認証取得

- ISO9001 JMAQA-154 ※全社一括認証
- ISO55001 MSA-AS18 ※インフラマネジメント事業部で認証

### グループ会社

(株)FCホールディングス (株)SVI研究所  
(株)環境防災 福山ビジネスネットワーク(株)  
(株)地球システム科学 Fracti合同会社  
(株)エコプラン研究所

### 主な加入団体

(一社) 建設コンサルタンツ協会  
(公社) 土木学会  
(公社) 日本技術士会  
(一社) 日本環境アセスメント協会  
(一社) 都市計画コンサルタント協会  
(一社) 日本道路協会  
(一社) 交通工学研究会  
(一社) 九州経済連合会  
(公社) 日本都市計画学会 他

### 主な有資格者

2022年11月1日現在

工 学 博 士	13
技 術 士	187
A P E C エ ン ジ ニ ア	2
R C C M	35
環 境 計 量 士	1
コ ン ク リ ー ト 診 断 士	9
交 通 工 学 研 究 会 認 定 T O E	10
土 木 学 会 認 定 上 級 技 術 者	4
一 級 建 築 士	3
一 級 土 木 施 工 管 理 技 士	41
一 級 造 園 施 工 管 理 技 士	1
測 量 士	23
1 級 ビ オ ト ー プ 計 画 管 理 士	1
公 害 防 止 管 理 者 ( 騒 音 ・ 振 動 )	2
一 級 カ ラ ー コ ー デ ィ ネ ー タ ー	6
地 質 調 査 技 士	3



# 業務紹介

## 交通環境

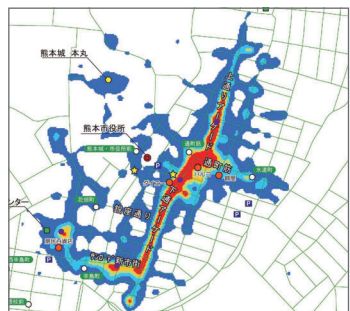
マネジメント  
事業部

### 交通マネジメント系 | 道路や公共交通、渋滞、交通安全対策に関する計画策定を行っています

#### ■ 総合都市交通体系調査

人の動きを把握・分析・予測して、将来の都市づくりのあり方を検討し、公共交通や道路、歩行環境等の総合的な交通計画の立案を行っています。近年、スマホアプリを活用した調査などにも取り組んでいます。

人の動きを可視化したヒートマップ例  
※熊本県・熊本市、熊本大学と共同で実施した調査をもとに作成



#### ■ 公共交通計画

公共交通課題に対応する将来像や具体的取り組みについて検討しています。佐賀県基山町ではオンデマンド交通の実証実験を行い、施策の実現化に向けた伴走・支援も行いました。



実証実験の様子

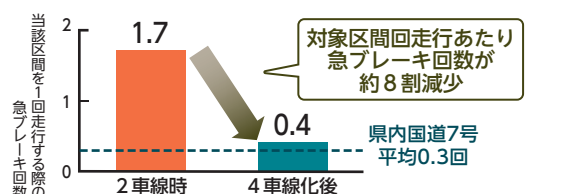
#### ■ 交通対策・渋滞対策

渋滞の現状を調査・把握、問題・課題を特定し、その地域に適した対策を提案しています。時差出勤等のソフト対策を提案・実施し、その効果検証を行いました。



#### ■ 道路事業評価

道路開通の波及効果について、調査から公表までの支援を行っています。ETC2.0等のビッグデータを活用した効果分析にも取り組んでいます。



4車線化前後の急ブレーキ回数の変化(国道7号青森西バイパス(青森市))  
※2車線時:プロブ調査結果より分析 4車線化後:ETC2.0データより分析

#### ■ 交通シミュレーション

渋滞状況や車両の交差点通過状況をもとに、信号や右左折レーンの設置等による交通状況への影響を可視化しています。ETC2.0等のビッグデータを活用することで精度の高いシミュレーションへ繋がっています。



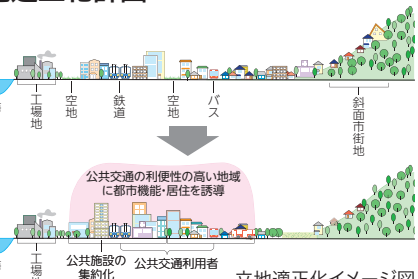
## 交通環境

マネジメント  
事業部

### 地域マネジメント系 | 将来の都市計画・地域計画の策定を行っています

#### ■ 立地適正化計画

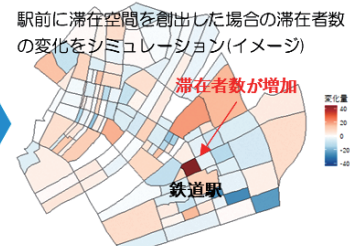
医療・福祉施設や商業施設、住居等を集約した拠点形成、各拠点の公共交通によるネットワーク形成など、持続可能でコンパクトな都市づくりを目指した計画づくりを行っています。



立地適正化イメージ図

#### ■ スマートシティ事業

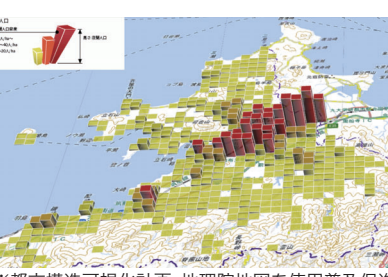
スマートシティの実現に向けた協議会の運営や、人流ビッグデータ等のまちづくりへの実装に向け、回遊シミュレーションツール(スマート・プランニング)の開発を行っています。



駅前に滞在空間を創出した場合の滞在者数の変化をシミュレーション(イメージ)

#### ■ i-都市再生

i-都市再生の概念整理、都市構造の可視化、3D都市モデルの技術仕様案「i-UR」の活用、地方公共団体職員を対象とした都市構造可視化に関する技術研修等を通じた普及促進などの支援を行っています。

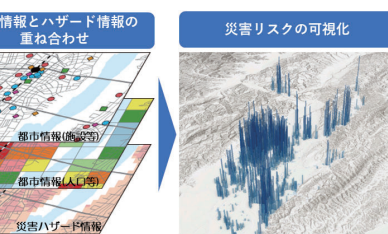


※都市構造可視化計画、地理院地図を使用普及促進などの支援を行っています。

「i-都市再生」とは  
内閣府地方創生推進事務局が推進し、都市情報と都市活動に関連する静的・動的な情報を連携し様々な課題解決を図る取組です。

#### ■ 防災まちづくり

激甚化する自然災害に備え、災害ハザード情報や都市情報等の様々なデータの活用により、都市に潜在する災害リスクの分析を行う等、防災まちづくりに係る計画策定等の支援を行っています。



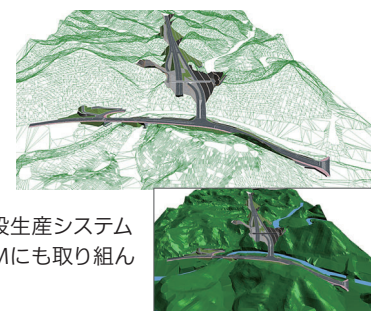
## インフラ

マネジメント  
事業部

### ストックマネジメント系 | 社会インフラストックの創造・設計を行っています

#### ■ 基幹ネットワークとなる道路の計画・設計

道路の計画、基本的な構造の検討、用地幅の決定、工事実施に必要な詳細設計などを行っています。また、自然災害からの復興に関わる道路の調査・設計も行っています。i-Constructionの推進による建設生産システムの生産性向上に向けて、BIM/CIMにも取り組んでいます。



BIM/CIM

#### ■ 交通・道路施設の計画・設計

利用客の利便性や快適性、安全性を考慮した駅前広場や交通結節点の空間検討を行っています。また照明、防護柵、舗装材やベンチなどの附属施設の意匠や配置計画を行う詳細設計を行っています。計画時には景観面においてCGや動画を活用した検討を行っています。



駅前広場・ペDESTリアンデッキの計画

#### ■ 道路空間の有効利用

既存道路空間の再配分による自転車通行や歩行空間の確保、にぎわい空間の創出など、快適な空間を提供するための検討を行っています。基本コンセプトの立案など基本計画から、付属施設(照明、安全施設、利便増進施設など)の意匠や配置検討、舗装材料の選定など細部構造も含めた実施設計までを行っています。



道路空間の再配分・自転車道整備

#### ■ 道路・鉄道構造物の計画・設計

橋梁・ボックスカルバート・擁壁など、道路や鉄道の構造物について、計画から形式選定、詳細設計を行っています。形式選定では、構造的な維持管理性、施工性等に配慮し、最適な構造形式を提案しています。詳細設計では、形式選定結果を踏まえた詳細検討を行い、さらに合理的な部材断面・形状を提案しています。



道路橋の詳細設計

新幹線橋梁の詳細設計

## 交通環境

マネジメント  
事業部

### 環境マネジメント系 | 道路整備や河川・ダム事業に伴う環境調査やアセスメントを行っています

#### ■ 環境アセスメント

規模の大きな事業を実施するにあたり必要な「環境アセスメント」の手続きを行っています。特に道路事業、土地区画整理事業に係わる環境アセスメントの実績が豊富で、調査から環境アセスメント図書の作成、説明会補助まで手続きに関する対応を行っています。



両生爬虫哺乳類調査

ホトケドジョウ放流



猛禽類調査

住民説明会

#### ■ 生活環境系に関する環境保全対策

生活環境を守るための各種調査事業を行っています

- ①道路交通や建設機械の稼働による周辺住宅、精密機械工場などへの騒音・振動影響予測及び環境保全対策の検討
- ②各種工事による家屋への影響範囲を予測し、事前家屋調査範囲の設定
- ③工事中の騒音・振動、濁水、土壌汚染を含めた工事監視、第三者の立場からの建設業者に対する指導・アドバイス等



地盤高調査

湧水調査

工事中の騒音・振動調査

#### ■ 自然環境系に関する環境保全対策

開発事業と自然環境の共存のために、全ての動物・植物に対応した調査および課題解決の検討・提案等を行っています。現地調査の企画立案・実施から行動圏解析、えさ場環境解析を通して事業実施による自然環境への影響検討を行います。

#### 【課題解決の例】

人工代替巢の設置検討・設置作業 / 工事中のコンディショニングの実施計画立案 / 施工業者への指導 / 重要な植物の移植 / サンショウウオの産卵池創出等の移植・移設計画の立案・施工 / エコロード計画 / 在来種を用いた法面緑化計画等の立案



動物の移動経路

植物移植

オオタカ人工代替巢

#### ■ グリーンインフラ

「グリーンインフラを活用した防災減災(ECO-DRR: Ecosystem-based Disaster Risk Reduction)」や、「グリーンインフラを活用した地方創生」に関する検討を進めています。



ビオトープ体験イベント



#### グリーンインフラとは?

グリーンインフラ(Green infrastructure)は、自然環境の持つ力や仕組みを、社会資本整備や防災減災、国土管理などに活かす新しい概念です。



# リスク マネジメント系 | 社会インフラの長寿命化、防災・減災に関わる計画策定や設計を行っています

## ■ 構造物点検・診断



橋梁点検車や高所作業車による点検状況

橋梁・トンネル・標識・照明施設等の道路構造物の定期点検等を行っています。有資格者が構造物の目視・触診を行い、損傷要因や程度を把握します。また、点検時にはドローン等の新技術も活用し、効率化を図っています。損傷要因の特定が困難な場合は、塩化物含有量試験等の詳細調査を行います。

## ■ 構造物補修・補強設計

### 【補修設計】

損傷した道路構造物に対し、詳細調査・原因分析・対策工法の立案を行い、構造物の機能を回復するための設計を行っています。



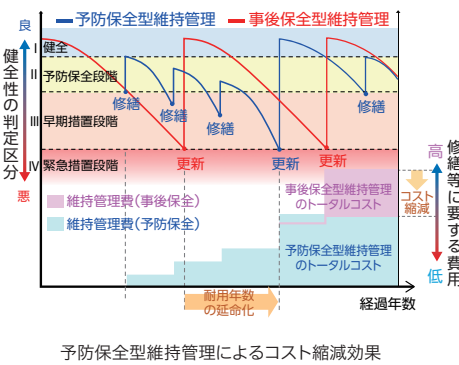
老朽化橋梁の補修設計

### 【補強設計】

旧基準で建設された構造物に対し、詳細調査・耐荷性能及び耐震性能の評価・適切な補強工法の立案及び設計を行い、道路利用者の安全性を確保しています。

## ■ 長寿命化修繕計画策定

道路構造物の将来健全度を予測し、補修時期・補修内容を提案しています。ライフサイクルコストの最小化や予算投資額の平準化が可能な修繕計画を策定します。当社はアセットマネジメントシステムの国際規格「ISO55001」を取得しており、アセット(道路構造物)の価値向上を目指します。

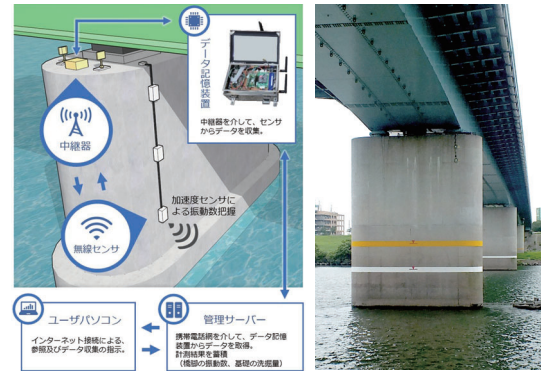


## ■ インフラモニタリング

道路構造物の効果的な維持管理のため、モニタリングを行っています。

### 【モニタリング事例】

橋脚基礎の洗掘、コンクリート構造物のひび割れ、橋脚の傾斜等の進行状況を、遠隔からリアルタイムで監視し、得られたデータをもとにアラート発出、道路・橋梁等の供用可否の判断、対策後の効果確認が可能となります。



下部工基礎の洗掘モニタリングシステム

## ■ 災害支援、防災・減災対策

### 【災害支援】

自然災害発生時に地域住民の生活環境の早期回復を目的とした応急対策設計を行うとともに、被災調査を行い、被災前への機能回復を目的とした復旧検討(災害査定)を行っています。



被災調査状況

### 【防災・減災対策】

現況道路の法面や擁壁などを維持・修繕するための調査、補修・補強設計を行っています。



法面に対する対策工設計

# 建設 マネジメント系 | 建設プロジェクトの企画・設計・事業監理・施工管理等を行っています

## ■ 事業監理業務(事業促進PPP、PM/CM業務)



建設プロジェクト事業の事業促進を支援

震災復興事業、豪雨災害による復旧事業など、早期完成を目指す事業のほか、宅地造成や新規の道路や新幹線整備等の建設プロジェクトに対し、計画・設計・発注・工事段階における事業マネジメントを行い、事業を円滑に進めるためのサポートをしています。

## ■ 災害時の情報収集、資料作成

ドローンを積極的に活用し、立ち入り困難な箇所の災害状況や規制の多い工事エリアの状況を定期的に観測し、円滑な事業計画、事業監理に活用しています。



ドローンによる被災状況把握(立ち入り困難箇所)

# 新規事業推進

## ▶ Fracti合同会社の設立

今後の発展が見込まれるスマートコミュニティ事業に対し本格的にスピード感をもった市場展開を加速するため、Fracti合同会社を設立しました。人流データなどの行動ビッグデータを解析する技術をもとに、MaaS関連ビジネスやマーケティングの支援のほか、おでかけの体験価値を上げる“おでかけランダムイズ”サービスを展開しています。



## ▶ SDGs事業の推進

グリーンインフラ事業の一環として栽培した地元産ホップを活用し、クラフトビールを開発。さらにビール副産物からヘアケア商品などを開発しSDGs事業を推進しています。



## ■ 受賞実績

### ■ 国土交通省

国土交通省では、毎年7月、前年度国土交通行政事業の円滑な推進に功績のあった国土交通行政労働者および団体に対し表彰を行っています。2022年度は19件受賞いたしました。

### ■ その他表彰

一般社団法人土木学会から「AI・データサイエンス特別賞」「インフラメンテナンス優秀論文賞」を2件受賞しています。

### 受賞実績(過去5年度)

機関 受賞 年度	東北 地方 整備局	関東 地方 整備局	中国 地方 整備局	四国 地方 整備局	九州 地方 整備局	国土技術 政策総合 研究所	(社) 土木 学会	合計
2022	4		4	2	9		2	21
2021	9	1	2	4	9			25
2020	5		3		6			14
2019	5	2		3		2		12
2018	8			2	3			13
合計	31	3	9	11	27	2	2	85

## ■ 特許等

当社は研究開発・技術開発の成果について特許取得を進めています。以下の取得により、当社の特許は11件となりました。

特許の名称	概要	特許番号等
分流式下水管への浸入水推定システム、方法、およびプログラム	雨天時に複数の区域で発生し、汚水管に浸入する浸入水を推定する浸入水推定システムであって、平日の曜日および休日祝日毎の浸入水の総量と各区域の総降雨量と降雨前後の時間関係から各区域の浸入水量を特定する値を求め、当該値から浸入水の発生する区域を推定するシステム	特許番号:特許第7143542号 登録年月日:令和4年9月16日 特許権者:(株)福山コンサルタント 公益財団法人日本下水道新技術機構
特許出願中の案件	概要	出願年月日
下水道管渠の劣化状態診断システム	画像から下水道管渠の劣化の種類と劣化の度合いを判別し、交換の要否および交換対象を決定する劣化状態診断システム	申請年月:令和4年3月30日

## ■ 女性活躍推進の取組

女性活躍推進法第9条に基づく基準に適合しているとして「えるほし(認定段階2)」企業として認定されました。





# Fukuyama Consultants

## 経営理念・目指す企業像

弊社は、「基本は技術」を旗印に「ステークホルダーの満足度を追求し新しい価値の創造によって社会に貢献する」を基本理念として、事業活動を推進しています。

この理念のもと、SDGsを念頭に「安心で活力ある持続可能な地域、快適な生活環境を実現する高い技術力・創造力を持ち持続的に成長する集団」として企業価値の向上に取り組んでいます。

## 経営の基本方針

私たちは「挑戦と獲得」をコンセプトとして新たな市場展開と社会課題の解決に取り組んで参ります。

- ①これまで蓄積してきた福山技術を活用し、新たな技術提案を積極的に行い、顧客のニーズに応えるとともに、社内外の多様な技術を融合連携させ未開拓分野にも挑戦します。
- ②DX等の異分野技術との結合により、次世代の柱となる事業分野を創出し、新たなビジネスモデルを獲得します。
- ③事業展開を担う多様な人材の獲得と育成を図るとともに、福山オリジナルのDX展開により、次世代の業務スタイルや働き方等に向けて改善し続けていきます。



## 主な役員

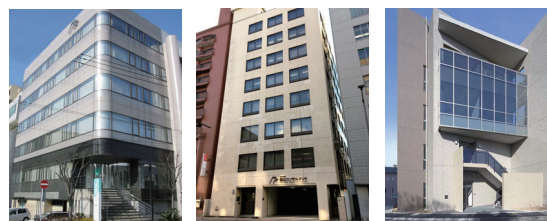
2022年11月1日現在	
代表取締役社長(執行役員)	福島 宏治
取締役専務(執行役員) 事業本部長	米徳 洋平
取締役常務(執行役員) 企画室長	伊藤 将司
取締役(執行役員) 北九州本社長	野上 和彦
取締役(執行役員) 東北支社長	長尾 康博
取締役(執行役員) インフラマネジメント事業部長	門司 雅道
取締役(執行役員) 中四国支社長兼交通マネジメント事業部長	小笹 俊成
取締役(執行役員) 東京支社長	石倉 麻志
監査役	山根 公八
常任顧問	藤本 聡
執行役員 上席理事	中野 聡
執行役員 上席理事	柳田 誠二
執行役員 新規事業推進室長	國分 恒彰

参与 白川 幸男	技術顧問 師井 努
技術顧問 川端 誠	技術顧問 永野 善清
技術顧問 吉田 英男	技術顧問 福原 龍美
部長 庄田 靖典	技術顧問 南 和美
部長 吉田 俊幸	技術顧問 小泉 恵三
技術部長 杉野 朗	技術顧問 鈴木 基行
部長 松永 卓	技術部長 土生 道
技術部長 中尾 英樹	技術部長 中村 実
技術部長 濱田 良和	技術顧問 宮川 浩幸
技術部長 小倉 弘康	参事 長澤 信一

## 会社の沿革

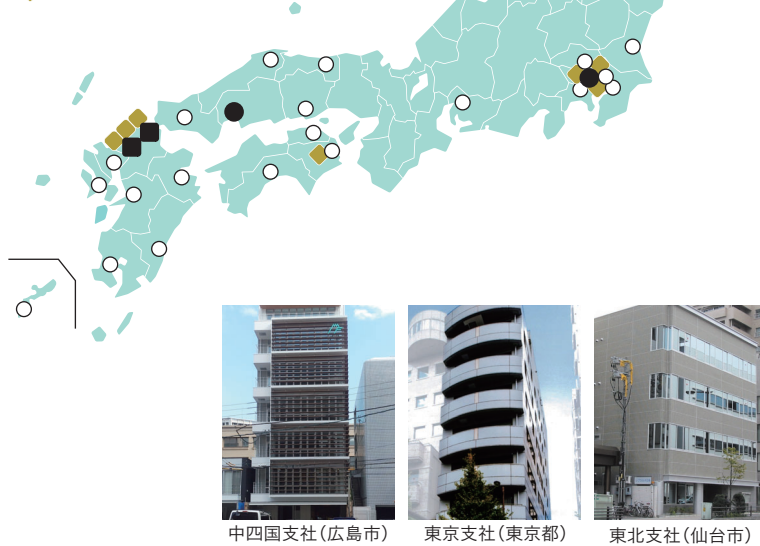
- 1949年 3月 福山工務店創業
- 1955年 3月 一級建築士事務所福山コンサルタントに改称
- 1963年 1月 東京出張所(現東京支社)開設
- // 11月 (株)福山コンサルタント設立
- 1964年 2月 測量業者登録
- // 12月 建設コンサルタント登録
- 1969年10月 北九州市に本社社屋を新築
- 1978年 8月 広島市に広島事務所(現中四国支社)を開設
- 1984年 3月 盛岡市に東北営業所(現東北支社)を開設
- // 7月 計量証明事業者登録
- 1994年 7月 福岡市に社屋を新築、本社(本店)を移転
- 1995年 3月 株式を店頭登録
- // 9月 地質調査業者登録
- 1998年 7月 本社、東日本事業部及び東北事業部(現東京支社及び東北支社)でISO9001を認証取得
- 1999年 3月 全社でISO9001を認証取得
- 2002年11月 仙台市に東北事業部社屋(現東北支社)を新築
- 2006年 7月 部門事業部制を導入
- // 10月 内部監査統括室を設立
- 2008年 7月 環境マネジメント事業部を新設
- 2009年 2月 熊本市に熊本事務所(現南九州支店)社屋を新築
- // 10月 (株)環境防災の株式取得
- 2014年 7月 部門と地域のマトリクス型組織を本格稼働
- 2015年 7月 新規事業推進室を設立
- 2016年 3月 福山ビジネスネットワーク(株)を設立
- // 11月 北九州本社を新社屋に移転
- 2017年 1月 (株)FCホールディングスを設立、持株会社体制へ移行
- // 7月 建設マネジメント事業部を新設
- 2018年 3月 労働者派遣事業登録
- // 6月 資本金4億円に減資
- // 7月 (株)SVI研究所を設立
- 2019年 5月 ISO55001を認証取得
- // 11月 広島市に中四国支社社屋を新築
- 2020年 7月 事業部門を2事業部に再編
- 2021年 6月 東京支社を新社屋に移転
- 2022年 4月 Fracti合同会社設立

FUKUYAMA CONSULTANTS CO.,LTD.



本社(福岡市) 北九州本社(北九州市) 南九州支店(熊本市)

- 当社本・支社
- 当社事務所・営業所
- ◆ グループ会社本社



中四国支社(広島市) 東京支社(東京都) 東北支社(仙台市)

## 株式会社 福山コンサルタント

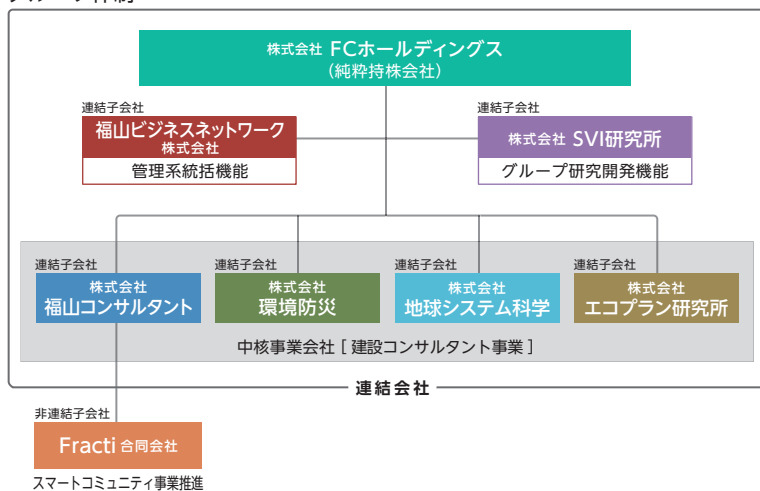
<https://www.fukuyamaconsul.co.jp/>

- 本 社 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-6-18  
TEL(092)471-0211(代) FAX(092)471-0333
- 北九州本社 〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2-1-6  
TEL(093)512-5721(代) FAX(093)512-5723
- 南九州支店 〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町1-21  
TEL(096)322-4449 FAX(096)326-3119
- 大分事務所 〒870-0045 大分市城崎町2-2-18号(城崎スミダビル5階)  
TEL(097)573-3553 FAX(097)573-3558
- 宮崎事務所 〒880-0907 宮崎市淀川3-8-17  
TEL(0985)52-6991(代) FAX(0985)52-6993
- 佐賀営業所 〒849-0933 佐賀市卸本町4-2(スクエア佐賀ビル)  
TEL(0952)33-9342 FAX(0952)33-9344
- 長崎営業所 〒851-0103 長崎市中里町1182-1(NQ長崎302号)  
TEL(095)832-0138 FAX(095)832-0139
- 鹿児島営業所 〒890-0046 鹿児島市西田2-28-6(アスカII302号)  
TEL(099)213-0340 FAX(099)213-0490
- 沖縄営業所 〒900-0012 那覇市泊3-13-5  
TEL(098)860-9051 FAX(098)860-9061
- 中四国支社 〒732-0052 広島市東区光町2-1-24  
TEL(082)553-9150(代) FAX(082)553-9155
- 四国事務所 〒760-0023 高松市寿町1-1-12(パシフィックシティ高松)  
TEL(087)811-7120 FAX(087)811-7130
- 徳島事務所 〒770-0046 徳島市鮎喰町1-57  
TEL(088)634-4840 FAX(088)634-4850
- 鳥取営業所 〒680-0037 鳥取市元町222(中杉ビル3階)  
TEL(0857)37-1466 FAX(0857)37-1465
- 鳥根営業所 〒690-0003 松江市朝日町477-17(明治安田生命松江駅前ビル2階)  
TEL(0852)20-7555 FAX(0852)20-7560
- 岡山営業所 〒700-0903 岡山市北区幸町6-17(チュリス幸町304号)  
TEL(086)235-6535 FAX(086)235-6536
- 山口営業所 〒753-0074 山口市中央5-7-3(山口センタービル)  
TEL(083)923-6642 FAX(083)923-6650
- 高知営業所 〒780-0816 高知市南宝永町5-11(山ニビル2階)  
TEL(088)880-3093 FAX(088)880-3094
- 東京支社 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14(神田平成ビル)  
TEL(03)5296-9400(代) FAX(03)5296-9402
- 千葉事務所 〒260-0028 千葉市中央区新町18-12(第八東ビル103号)  
TEL(043)247-4614 FAX(043)247-4619
- 茨城営業所 〒310-0836 水戸市元吉田町631-26(プレミアム102号)  
TEL(029)306-7011 FAX(029)306-7099
- 埼玉営業所 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町3-11-3(栗原ビル)  
TEL(048)729-6756 FAX(048)729-6757
- 江東営業所 〒135-0011 東京都江東区豊橋3-3-3(アベჯ住吉602)  
TEL(03)5634-9477 FAX(03)5634-9478
- 神奈川営業所 〒231-0028 横浜市中区磯町2-7-10(関内フレックスビル304号)  
TEL(045)263-8061 FAX(045)263-8062
- 名古屋営業所 〒452-0822 名古屋市中区小田井4-4-78  
TEL(052)504-1500 FAX(052)504-1501
- 東北支社 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17  
TEL(022)262-0118(代) FAX(022)262-0379
- 北東北事務所 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通16-21(盛岡駅前通ビル)  
TEL(019)653-7009 FAX(019)653-1125
- 秋田営業所 〒010-0951 秋田市山王3-1-7(東カン秋田ビル)  
TEL(018)824-5751 FAX(018)888-2929
- 山形営業所 〒995-0016 山形県村山市榑岡町2-9  
TEL(0237)48-8270 FAX(0237)48-8271
- 福島営業所 〒960-8055 福島市野田町7-13-12  
TEL(024)573-6623 FAX(024)573-6086

## グループ体制

当社は、建設コンサルタント事業の強化と多岐にわたる分野連携を推進していくために、2017年1月4日付けで株式会社FCホールディングスを設立し、持株会社体制に移行しました。

## グループ体制



- ◆ 株式会社 FCホールディングス  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-6-18  
TEL(092)412-8300(代) FAX(092)412-8303
- ◆ 株式会社 環境防災  
〒770-0046 徳島市鮎喰町1-57  
TEL(088)632-0111(代) FAX(088)631-5438
- ◆ 株式会社 地球システム科学  
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14(神田平成ビル8階)  
TEL(03)6271-7385(代) FAX(03)6271-7386
- ◆ 株式会社 エコプラン研究所  
〒808-0146 北九州市若松区高須西1-4-13  
TEL(093)741-5189(代) FAX(093)741-5089
- ◆ 株式会社 SVI研究所  
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14(神田平成ビル)  
TEL(03)5296-9409(代) FAX(03)5296-9402
- ◆ 福山ビジネスネットワーク 株式会社  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-6-18  
TEL(092)471-1437(代) FAX(092)471-0333
- ◆ Fracti 合同会社  
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14(神田平成ビル)  
TEL(050)3612-8279